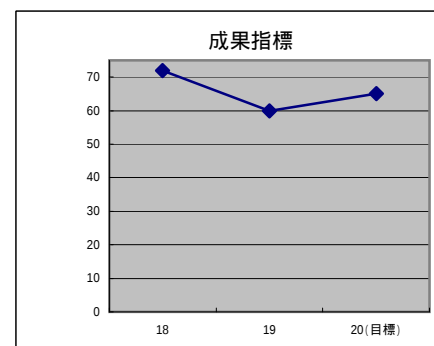
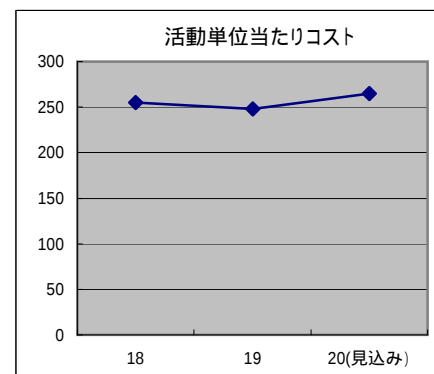


事務事業名		公共施設循環バス運行業務		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	6	財産管理費	
					事業	2	車輛管理	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともに作るまち	作成部署				総務部管財用地課
	施策(節)	3	行財政運営	連絡先				072 - 958 - 1111 内線 1900
	施策の方向							
関連する計画等								
事業の目的	対象(誰を・何を)							
	不特定多数の市民を公共施設へ送迎している							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
	市民生活の利便の向上と福祉の充実							
事業の内容	市役所を起点とし、市内にある停留所を循環し、市民を無料で送迎する。							
根拠法令等								
事業開始時期		☐ 昭和 ☒ 平成 4 年 月開始 ☐ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度						
事業開始時からの状況変化		平成4年7月2コース5年4月3コース6年4月4コース10年10月クリーンピア便16年4月陵南の森バスと統合18年6月道の駅						
市民や議会の要望		便数、停留所の増設						
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 外郭団体委託	名称	委託内容				
		☐ 民間委託						

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		9,237	9,826	11,140
人件費【2】 (千円)		18,600	20,400	21,600
職員数	正規職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	7.00 人	7.00 人	9.00 人
	臨時職員	1.00 人	2.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		27,837	30,226	32,740
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	27,837	30,226	32,740
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
年間総乗客数	人	109,110	121,814	123,690
一日の運行便数	便	25	34	34
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		255 円	248 円	265 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		231 円	252 円	273 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		指標設定の考え方	平成18年度		平成19年度		平成20年度
	平均乗車率(%) 式) 乗車人数 ÷ 座席数 × 100	座席数 ÷ 204152 × 100 但し18年度は6号車は無い	目標	65	65	達成率(%)	65	
			実績	72	60	92.3%		
	式)		目標			達成率(%)		
			実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	平成4年度より実施し、市民の足として定着し、また高齢者対策としても必要な事業である。
		○									

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	循環バスは他市に比べ停留所の数、便数等が充実している。	
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☐	☒	☐		
	社会情勢の変化に対応している	☐	☒	☐		
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐		
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐		
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐		
	緊急性が認められる	☐	☐	☒		
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	嘱託員で運営しているので経費が安い。	
	受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐		
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐		
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐		
	簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐		
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐		
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐		
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	年間利用人数が12万人を超えて利用している。	
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐		
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐		
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐		
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☒	☐		
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☐	☒	☐		
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐		
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐		
達成度	成果指標の目標値は適正である	☐	☐	☒		
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐		
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐		

担当 部局 評価	総合評価
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	公共施設循環バスは他市に比べて、便数・バス停など充実している。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
	まだ利便性に欠けている地域があるのが今後の課題です。